

地域教育実践交流集会

むすんで ひらいて ひびきあう

第4回 地域教育実践交流集会。今年も11月12・13日の一泊二日大洲青少年交流の家で開催されました。今年の参加者は144名。

これまで経験したこともない大地震が起こった。東日本大震災は、人も物も一瞬のうちに押し流し、田畑も塩水で侵し放射能で汚染してしまった。生きのびた人たちも着のみ着のまま、家財道具もクルマも流され、なにもないまちは、跡形もなく、残るのは瓦礫の山のみだ。

夏草や 生き残るとは 生きること。

蝸牛 瓦礫の山を 這い登る。

被災地の高校生が、どう生きるか、どう復興に立ち向かっていくか、をよんだ句である。他方、ある被災地では、こんな川柳がつくられていた。

震災で 改めて知る 地域の輪

この大震災をきっかけに、生きるとはどういうことか、幸せとはなにか。被災地の人たちだけでなく、これまでの生き方を見直した人が多かったのではないかな。



エリッヒ・フロムに『生きるということ』という名著がある。そのなかで彼は、人間が生きるうえでの基本的な生活様式に「持つ様式 to have」と「在る様式 to be」とがあり、「もはや『持つこと』よりも『在ること』を重視する時代に移ってきている」と。これまでは「持つこと」を人生の目的として、「財産」「社会的地位」「学歴」「権力」などの所有をめざしてきた。より高い学歴、より多くの財産、より高い社会的地位、より大きな権力などをめざす生き方を重視してきた。だが、こうした「持つため」の生き方では、このころの休まる間もなく、いつも戦々恐々とした日々を送っていかざるをえない。人間がより人間らしく生きていくためには、「持つこと」に執着すべきではない。衣類をどれだけ数多く持っているかではなく、自分なりに、いかにうまく着こなすか、その方が大事ではないか。より多く持つよりも個性的でありたい、あるがままの自分でありたい、心豊かに生きたい、そんな「在るため」の生き方を重視すべきではないか。

いまや人々は「在るため」の生き方、つまり「成長すること、あふれ出ること、愛すること、孤立しないこと、関心を持つこと、与えること、経験を分かち合うこと、社会的に有用な変化をつくること、自分自身を経験し、何かを生み出す過程」を重視した生き方を求めはじめている。限られた自己の能力を最大限に生かし、生きることの喜びを確認する生き方を求めはじめているのである。

これからの激動の社会を主体的に生き抜き、心豊かに人間らしく生きていくためには、子どものときから、つぎのような「在るため」の生き方、経験をしっかりやっていくことである。

先ず第一に挙げたいのは、この世に生まれてきた甲斐があった、生きていてよかった、そうした生きる喜び・充実感が生まれてくるような体験、生きようとする熱気・情熱が湧き出るような感動体験、感謝したくなるような体験をさせることである。

これからの海図なき航路の時代にあっては、何が起ころうともおかしくない。わが身は自ら守るすべを身につけなければならない。危機管理能力、危機回避能力を身につけるためには、危険な場面で緊張感をもって取り組まざるをえない体験をすることだ。

ところで子どものときに苦労した経験がある者は、そうでない者よりも、大人になって、難題に直面してもより耐えられ、乗り切れるという。「苦労の免疫理論」である。子どものときに、苦労体験、自ら工夫せざるを得ない体験をさせておくことである。

これからはだれかが決めた路線の上を動く時代ではない。自ら企画立案し、段取りをつけ、仕切っていく力がある。自らの構想のもと自ら計画を立て、自ら決定・決断していく力を身につけることが大事だ。

最後に交流、貢献力をあげておこう。これからの社会は交流、協働、連携、共生の時代である。異質のものとの交流・協働できる力、さらに社会の担い手として他者や社会のために貢献する喜びや力を身につけていくことが大事になっている。

これからの激動の社会を生きがいをもって、また生き抜いていくためには、子どものときから感動・感謝、緊張・危険、苦労・工夫、計画・決断、交流・貢献、いわゆる「かきくけこ」力を身につける体験を多くしていくことである。



タイムスケジュール

12日 オープニングアトラクション・オリエンテーション後 14 分散会が開催された。その後 出合いの広場・交流会が実施される。

13日 5つの分科会・全体会が開催され、来年の再会を誓って解散する。

今年も愛媛県以外では東京・和歌山・島根・福岡・香川・高知からの参加者があり交流の厚みが増してきています。

12日分散会

事 例	内 容
ふじみね学校支援連絡協議会	学校を拠点とした地域づくり
大洲市白滝公民館	地域一体型の取組「通学合宿るりひめ村」
郡中地区愛護班	ふれあい土曜日綱引き大会
認定 NPO 法人えひめイヌ・ネコの会	そうだったのか! ペットと一緒にの自主防災
こどもの絆プロジェクト	ふくしまキッズ冬季林間学校 12泊13日
高松市栗林コミュニティセンター	プレーパークとの関わり
さくら児童クラブ	さくら児童クラブの実践活動
佐田岬みつけ隊	伊方町町見郷土館の博物館サポーター
桑原中学校「50kmチャレンジ歩行」	地域と一緒にする50 ^{km} 遠足
海の体験活動実行委員会	明浜地区でのシーカヤック活動
笑顔創造リンクス affetti	愛にあふれた未来を創る
田之筋緑の少年団	公民館と小学校の協働による緑の少年団活動
常盤公民館	高校生と地域の交流活動
せんの森クラブ	内子の山発見活動
4-Rings	4大学生のボランティア活動ネットワーク
泉川まちづくり協議会	国立室戸青少年自然の家での体験学習
新居浜市教育委員会社会教育課	子ども環境キャンプ・ふるさと学習
NPO えひめ子どもチャレンジ支援機構八幡浜	小・中・高・青年による活動
新居浜市南高等学校ユネスコ部	子どもたちとのふるさと学習の実践
NPO えひめ子どもチャレンジ支援機構松山	中・高・大学生による震災ボランティア活動
地球子広場	子どもと一緒にソバづくり
サポート隊「夢のたまご」	読書活動を通じた家庭教育支援
新居浜市高等学校家庭クラブ	子どもたちとの読み聞かせ活動
地球っ子ひろば	八幡浜
MATSUMOTO グループ	宿泊体験活動を通して育む豊かな感性・仲間づくり
高松市三谷コミュニティセンター	三谷駅伝などの地域イベント
高知市まちづくり未来塾	高知市の子どもたちとの関わり
無人島実行委員会	9泊10日の無人島体験事業
徳丸一座	村芝居の復活

13日分科会

通学合宿

愛媛県ヤングボランティアセンター
わくわく生活体験「夕焼け村」

学校支援

飯塚市高田小学校
三崎中学校校区
新居浜市泉川地区

子育てネットワーク

和歌山県有田川町 社会教育課長
愛媛県愛南町 水産課
NPO 松山冒険遊び場みんなだいすき

防災・安全・防犯

安全・安心マップ 新居浜・久米・北中城での活動
和気公民館 館長

ふれあいキャンプ

あいあいキャンプ
里山キャンプ 久米小学校



第4回感想 メール到着順

最もご苦勞をおかけしたのは、実行委員の方々だと思います。本当にありがとうございました。昨夜、1時を過ぎたときに仙波さんから出た言葉「もう、参りました。」同感でした。でもあの後も数人で盛りあがってましたね。すばらしい出会いと再会の場になりました。ありがとうございました。森本さんの福岡にも行ってみたいものです。総体前で行けませんが。

四国最西端 日本一細長い佐田岬半島 岬人（はなんちゅう） 浅野 長武

大変お疲れ様でした。

溝渕グループ、小田深山を午後1時に出発、5時半に帰宅していました。早いですね。

お世話になりました。ありがとうございました。

大洲支局の秦さん、昨日取材させていただきまして・・・よね。

愛媛新聞社 浅野 和子

お疲れさまでした。

今回は参観日も重なり、何にも分担できなかったなあ・・・と、申し訳なく 思っています。名札や何かのお知らせプリントなどくらいなら、作成してメール添付で返送するとか、できると思っていますので、来年は頑張ります。

雄郡小学校 吉見香奈子

お疲れ様でした。

私も、昨日のバザー準備、本日の参観日とバザーの間、今頃大洲では…、と思っていました。今回の成果は、まだゆっくりお聞かせください。なにもできず、申し訳ありません。

河野小学校 和田 瑞穂

お疲れさんでした。

私も、4回目の参加でしたが輪が広がってきている事を実感致します。そして今回の会議は一番充実していたねと、関さんと話しながら帰りました。

私自身のことになり恐縮ですが、11月は、市議会議員ソフトボール大会、文化祭、特別委員会視察、愛媛県新しい公共プレゼンテーション、そして地域実践交流集会参加と大変忙しい毎日でした。

お陰で、県のプレゼンは失敗（真鍋課長主催）今日の発表も資料も作らずの参加で反省しています。参加するからには、次回からは、前段取りの準備を完璧にして参加します。

御迷惑おかけ致しました。でも、今回も多くの方との出会いがありました。大きな財産となりました。本当にありがとうございました。

新居浜市議会 篠原 茂

大変お世話になりました。なんのご協力もできないままで大変申し訳なく思っております。今回2回目の参加でしたが、「出会いの大切さ」「学習の重要性」「継続の必要性」を痛快したところであります。行動することにより新しい情報とすてきな人に出会います。

日々行動力のない私にとって、刺激となる交流会であったと感謝と反省をしているところであります。

事務局及び役員の皆様方には今後とも末長くご指導いただきますようお願い申し上げます。

伊予市 小湊 誠二

おはようございます。お世話になりました。13日は、朝6：30～別の用事が入っていたため、顔が出せず申し訳ありませんでした。今回、分散会で発表を依頼した白滝公民館の池田さんより以下のようなメールが届いています。「おはようございます！！土日と二日間の集会ということで、本当にお疲れ様でした。

私にとっての分散会は大変貴重な体験となりました。皆さんの地域活動に寄せる熱い思いを肌で感じる事ができました。特に、自らが楽しみながら活動をされていることは、よい励みとなりました。一つ残念だったのは、あのような勉強になる集会に地元の大洲市からの参加が少なかったことです。正直、様々な集会や会合はありますが、今回のように勉強になった集会はあまり記憶にありません。参加する機会を与えていただき、心から感謝しております。ありがとうございました。

MATSUMOTO グループの松本さんも懇親会の最後まで参加し「来年も是非参加したい。」「地域のために活動している方がこんなにたくさんいるなんて感激した。」「『ただのおばちゃんの活動でもいいんだ。』と自信がついた。」という感想を残して帰られました。（家まで送り届けました）

本当に充実感あふれる会となりました。実は、名札ケースを返し忘れていたので、また後ほど返却させていただきます。申し訳ありません。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

南予教育事務所 社会教育課 山田 千尋

2日間、お世話になりました。みなさんに転送していただければと思います。以前から参加はしたかったのですが、仕事の為に参加できませんでした。タイミングよく参加でき、とても、みなさんの好意がうれしく感じました。仙波さんには、まだ、ご迷惑をおかけするとは思いますが、よろしく願います。皆様、2日間お世話になりました。昨日の報告では100,515円でしたが、後で寄付をいただきましたので、102,515円をお預かりしました。

昨日は大洲市でも住民による『大洲まちづくりフリーサロン実行委員会』でも、募金活動をしていただきました。役所がしないから、私達がやる！そう言われていましたが、大勢の方々と『こどもの絆プロジェクト』を通して【絆】ができていく感じがします。愛媛で笑顔を、愛媛に笑顔を、みんなにも笑顔を！そうなる活動になろうよう、ここで自分達にプレッシャーをかけて進んでまいります。日程案を添付しますので、もしご参加・ご協力していただける方がいらっしゃいましたら、お声をかけていただけたらと思います。本当に、本当にお世話になりました。これからも、ご迷惑をおかけしたい。

こどもの絆プロジェクト 今治市桜井公民館主事 青野 信久

この度も大変お世話になりました。数々のお取り計らい、心より感謝申し上げます。おかげさまでまた新たな出会いも頂きましたし、今までの方々とも友情を深めることもできました。ある意味とても疲れる会ではありますが？でも大切な集まりだなあと感じます。

だんだんと濃度の高い人が残ってきたようですので、これからかなあという感じですね。私はあまりお役には立てそうもありませんが、先輩は今後ともご自愛しながら大切な役どころとしてご活躍されてくださいますよう祈念申し上げます。

ありがとうございました。

はーと・ねっと・くらぶ 代表 田中 啓文

和歌山県の三角です。

お疲れ様でした、そしてありがとうございました。

大変有意義な2日間を過ごさせて頂きました。実行委員の皆様方、また支えてくださった皆様方、そして参加された方々を始め、多くの関係者の方々に深く感謝申し上げます。

いろいろ別な角度でも見えてきた者がありました。改めて、私どもの県内での今後の活動にとって勉強になりました。ついでで申し訳ないのですが、私どもでも来年の6月に『まちびと学会』を開催します。まちのひと、待っている人…というかけこたえの会です。学会とは名ばかりで、地域交流と実践に学ぶ会です。遠隔地ではございますが、是非ともご参加頂ければ幸いです。

上から読んで下から読んで『みすみ』 三角治

本当にお疲れ様でした。

大会運営の実務をほとんど松山のメンバーに依存してしまい誠に申し訳ありません。私は、特に今回不義理を重ね反省しております。大会の内容について今年感じましたことを何点か申し述べます。

人数的には、今回の人数程度が一番良いのかなと感じました。

分散会が10名程度、分科会が20名程度の人数は話を展開するには最も良いような気がしました。

分散会は事例紹介、分科会はコーディネーターという異なる立場で参加しましたが、お互いの考え方や活動を知る分散会では10名が限度でしょうし、みんなが一言は発言し、情報交換するという意味で20名は何とかなる人数だと思いました。

特に、「通学合宿」という具体的なテーマをもとに、やっている地域もやっていない地域も其々の視点で対話できた会は楽しかったですね。おそらく、他の分科会も同じではないかと感じます。

他の分科会の人数は特に偏りはなかったのでしょうか？その点は少々不安です。

また、対話のレベルは回を重ねるごとに深くなってきている感じがします。其々の地域の悩みが吐き出され、それをみんなが何とかしようという思いで情報提供する、その風土が生まれつつあり、心強い限りです。

今回は、福島キッズのことについて、浄財あつめ、情報共有が図られたことも感謝です。公民館主事部会のメンバーも参加し、自分達の思いを語り、このようなネットワークがあることを理解できたことは、きっと彼らにとっても大きな収穫になったものと思います。物心両面で…

また、高知市のまちづくり市民塾のメンバーの熱心さにも大きな刺激を受けました。来月初めには、本市の船木公民館が高知を訪ね研修の予定です。その前に、メンバーと面識ができ、お互いの抱えている悩みを共有できたことも大きな収穫でした。この縁をいかし、今後とも関係を繋げていきたいと思っています。やはり、この会の目的は『縁をつなぐ』ことであり、その縁が継続・深化することによって、共感につながるようになるのでしょう。その輪を、これからも広げていきたいものです。

P.S. 以前お電話いたしました公民館海援隊のメンバー、福島県会津坂下町金上公民館の佐藤 房枝さんと藤沢市善行公民館の磯崎 恵美子さんですが、11月18日に松山市に宿泊する予定です。宿泊は二番町ホテルだそうなのですが、松山でどこかよき食事処酒どころなどご推薦いただける店がありましたらご紹介下さい。

新居浜市 関 福生

実行委員の皆様

こちらこそ2日間大変お世話になりました。いろいろな方との再会、新しい出会いに感謝申し上げます。ご準備から当日運営、事後整理までお疲れ様です。核になる人が居てこそこの会だと改めて感じました。お天気に恵まれ、片道7時間の道のりも楽しい遠足でした。福岡組にとっても、移動する（出かけて行く）ことの意味を再確認した機会でした。毎年5月に、愛媛、四国から何人もの方々が福岡にお出でくださる有り難さをかみ締めながらの往復でした。これからも相互の交流と、刺激しあう関係が発展するようお願いしております。

三浦清一郎先生にもご報告したところです。来年は5周年記念大会ですね。節目の年に、更にランクアップした会として発展されますことをお祈りしております。お礼まで。

九州女子大学 大島まな

愛媛の「交流会」御学友のみなさまへ

第4回地域教育実践研究交流会愛媛大会、ご成功おめでとうございました。

元気な愛媛のみなさまの実践に元気が出ました。実践事例の素晴らしさに、九州からの7時間の旅の疲れが吹っ飛びました。また、讃岐先生の締めめの講演に感動しました。

来年は5周年ですね！お互いに楽しくがんばりましょう。機会がありましたら、九州へもお越し下さい。これからも、連携お願い致します。一筆心から御礼と感謝を申し上げます。

ご苦労様でした。燃える！愛媛！！の、学びの仲間にお会いできて嬉しいでした。来年は5周年大会！楽しくがんばりましょう。本学にもお越し下さい。待っています。

九州共立大学 古市勝也

細かいお心遣いが手に取るようにわかり感謝あるのみです。新しい実践事例との出会い、新しい仲間との出会い、輪の広がりを感じています。ありがとうございました。帰りの車の中でも仙波さんのご苦労されていることが話題になりました。

今後残務整理や反省会等続くと思います。自愛の上ご活躍ください。関係者の皆さんにもよろしくお伝えください。

福岡県 森本精造

ご挨拶が遅くなりました。大変充実した二日間を過ごさせていただきました。分科会では本当に活き活きと活動される方々の発表をきかせていただき、大きなエネルギーをいただきました。こういう方々の支えがあって地域が元気になるんだと、改めて社会教育の力を感じました。私ももう一度社会教育に携わっている者として、自覚を持って仕事に取り組みたいと思いながら、山々のミカンのオレンジをまぶしく感じ、美しいしまなみ海道を走って帰りました。(あのミカンをお土産にしたいな～と露天売りをさがしつつはしていたら、いつのまにか広島に渡ってしまいました：笑)

皆様準備から運営、片付けと、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。また、また来年を楽しみにしております。

島根県 広中郁美

